

もくじ

- ・ ジャックとまめのき

ジャック と まめのき

げんさく： せかいのむかしばなし

イラスト： いなとめ まきこ

へんしゅう： イエローボードプロジェクト

ここは イギリスの、
とある いなかのむらです。

ここに、ジャックという しょうねんが、
ははおやと ふたりで くらしていました。

ジャックの いえには、
うしが ひとつ いました。

ジャックは まいにち、うしから しばった
ミルクを まちで おかねにかえて、
たべるものを かっていました。

しかし あるひ、きゆうに うしが
ミルクを ださなくなっていました。
ははおやは、うしを てばなすことにしました。

「ジャック、まちへ行って、
うしを うってきておくれ」
「うん、わかった。ぼくに まかせてよ！」

ジャックは、うしをひいて
まちへ むかいました。



ジャックが あるいていると、
ひとりの おじいさんに こえをかけられました。

「おい、ぼうや。いい うしを つれているね。
どこへ いくんだい？」

「うしをうりに、まちのいちばに いくんだ」

「なるほどな。ぼうや、きみの つれている
『うし』と、この『まめ』を とりかえないか？」

おじいさんは かばんから、
さんつぶの まめをとりだし、
ジャックのまえに さしだしました。

「これは ただのまめではない。
このまめは『まほうのまめ』だ。
しあわせをはこぶ まめだぞ」

ジャックは、なぜか このまめが ほしくて、
がまんが できなくなっていました。
ジャックは、うしと まめを こうかんしました。

